

第 276 回競技委員会議事録

1. 日 時：2022 年 3 月 2 日（水）18 時 00 分～20 時 30 分

2. 会 場：連盟本部事務局

3. 出席委員：

競技委員会：委員総数 14、定足数 10、出席 13（内委任状 2）で成立。

寺本直志委員長、桜井雅子、山後秀幸、仲村篤志、

浅越ことみ、吉田正、斉藤千鶴乃、正村祐一、久富健史

Zoom で出席：ロバート・ゲラー、石橋瑞己

委任状：佐々部君敏、林伸之

欠席：山田和彦競技会事業担当業務執行理事

オブザーバー：貴戸祥郎

4. 議事の経過及び結果：寺本直志委員長を議長に議事を逐一審議した。

第 1 号議案 セクショナルディレクターの承認

山本 千春 174358 C-01146 神奈川県

推薦者 齋藤 陽子 114222 S-00073

第 2 号議案 HANDBOOK 修正箇所について

- (1) 事務局より HANDBOOK 改訂の文章案の提出があった。一部の表記は修正してメール確認することとし、それ以外は承認した。
- (2) 「WBF システムカード及び補足シート記入ガイド」の原版が更新されていた。吉田委員が翻訳をし、事務局がリスト D コンベンションに関する JCBL 特例を追記した記入ガイドの提出があった。一部修正の上で承認した。記入ガイドはホームページに掲載する。

第 3 号議案 その他議案

- (1) クラブリーグ 1 部の優勝チームに、日本リーグへの昇格を拒否してクラブリーグ 1 部に残留する選択肢を与える提案があった。現在の規定では、クラブリーグ 1 部優勝チームが日本リーグへの昇格を拒否した場合、チームは解散となりクラブリーグ 1 部に残留することはできない。審議の結果、現状維持とすることとした。
- (2) 日本リーグ及びクラブリーグにおける感染症拡大防止に対する特別規定について議論した。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため体調不良の参加者を制限する必要がある、それによる不戦敗やチームが継続できなくなることを防ぐ狙いがある。審議の結果、コロナが収束するまでの時限措置として、チームでクオリファイしたメンバーが 3 人以下の場合、クオリファイしたメンバー全員を含む 4 人を継続メンバーとすることでチームの継続を特例として認めることとした。また日本リーグで認めていた代理メンバーについて、クラブリーグにも適用することとした。

- (3) ブリッジメイト使用手順についての意見が出された。審議の結果、現状の規定通りで変更しないこととした。
- (4) 代理プレイヤーに関する ACBL の規定の資料が提出された。3 人ペアについて、競技会運営規則・試合要項に関するワーキンググループで議論していくこととした。
- (5) 冬季ウィメンズチームの運営について意見交換を行った。
- (6) サイキックの基準について、コンベンション・アラートに関するワーキンググループで議論していくこととした。

次回競技委員会は 2022 年 6 月 1 日（水）18 時 00 分からの開催を予定する。

以 上